

文京区労協ニュース

文京区労働組合協議会 〒112-0002 東京都文京区小石川 2-21-8 メール：BCF06005@nifty.com

TEL：03-3815-1558 FAX：03-3813-6006 FaceBook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100025594991506>

**コロナ禍の経済危機だからこそ
最低賃金の格差是正と引上げ
中小企業支援の抜本的な強化を求める**

**誰でもご自由に参加できます！
参加大歓迎で！
ごいっしょにデモ行進をしませんか！**

第5回 **最賃 1500 円を求める
7・10 文京最賃デモ**

最賃大幅引き上げのために

中小企業には

残業はやらない！Wワークしない！
休日はずっと休んで、たまには子どもを連れて遊びに行きたい。
足りない年金、カバーするために働く！
文京区の仕事なのに、なんだよ、この単価は！
くらしの基準 最低賃金は 1500 円！

強力な支援を

最賃デモスローガン
—文京区の公契約条例実現—
—最低保障年金 8 万円—
—全国一律・最低賃金 1500 円—

◎日時：7月10日(土曜日) 13:30~14:30 出発会場地図 後楽園駅徒歩5分

◎集合場所：後楽公園 13:00 集合

◎コース：後楽公園→トヨタ東京本社→水道橋駅
→後楽園遊園地→澁川公園(解散)

主催 文京最賃デモ実行委員会
お問い合わせは 文京区労協 3815-1558



《首切り「合理化」は絶対に許さない!》



6月23日(水)午後1時半より文京区湯島にある、業務用冷凍冷蔵庫などの販売を行っている(株)ダイレイの社前で、不当解雇されたKさんの職場復帰を求める抗議・要請行動が行われました。この日はJMITUを中心として金属関係労働者の「金属反合同行動」の一環として取り組まれたものです。(株)ダイレイへの抗議・要請行動は今年に入って毎月社前での行動を繰り返しています。会社は、団体交渉にも誠実に対応せず、都労委の提案の「和解」交渉でも一方的に決裂を宣言し、不調に終わっています。その後労働組合からの団交申し入れについてもすべて拒否しています。集会では主催者を代表してJMITU 北部地域支部の菊池委員長が挨拶。経過報告後に文京春闘共闘会議の鈴木副議長と板橋区労連の峯田副議長が連帯の挨拶を行いました。最後に不当解雇撤回、職場復帰にむけてKさんが決意表明し、また集会参加者に繰り返しお礼を述べていました。地元でもある文京地域からは、東京土建文京支部、CU 東京文京支部、文京労連、文京区労協などから10名が参加しました。この日の行動でも代表による申し入れを行うことになっていましたが、会社が拒否し申し入れ文書だけを置いてきました。この集会には豊島区労協からの参加もあり、金属関係以外でも、北部地域からの支援の輪が広がっています。

7・8月の主な行動

- 7/10(土) 文京最賃デモ(後楽公園) 13:30~
- 7/24(土) 文京アクション学習会(区民センター) 13:30~
- 7/29(木) JAL 争議支援宣伝行動(大山駅) 18:00~
- 8/7~9 平和を願う文京戦争展(シビック1F)
- 8/26(木) JAL 争議支援宣伝行動(後楽園) 18:00~

《今、全国で最低賃金を

¥1500.-に上げる運動を展開中！》



6月11日(金)昼休み時間帯に、地下鉄丸ノ内線後楽園駅前広場で、東京春闘共闘の呼び掛けにこたえて文京春闘共闘は、全国一律最低賃金1500円を求めて宣伝行動を行い11名の組合員が参加しました。文京春闘共闘会議を代表し、大谷昇議長が以下のようにアピールしました。

「私たち国民春闘共闘会議が全国2万人余りを対象にした最低生計費試算調査によれば若者25歳単身者が自立した人間らしい生活をする上で必要な生計費は、どの都道府県でもほぼ変わらず月額で24万円前後、時間額にすると1500円以上という結果になります。最低生計費の暮らしとは、ガマンにガマンを重ねる生活ではありません。7割の人がもっているものを必需品として、栄養のある食事、TP0にあった服装、リフレッシュや良好な人間関係を維持するための外食や娯楽など、心身の健康や人の尊厳を守れる「普通の暮らし」です。最低賃金引上げと同時に中小企業への直接助成や社会保障の使用者負担の減免など国の決断が必要です。わたしたち労働組合は最低賃金を全国一律にし、1500円に上げることを文京区議会に請願しています。また、コロナ禍により解雇、賃金カット、パワハラに遭われている方、一人でも入ることのできるコミュニティユニオン東京という労働組合があります。是非、ご相談ください。新型コロナウイルスを克服し、すべての労働者の賃上げ・底上げ、雇用の安定、8時間働けばだれでもが安心して暮らせる社会をつくりましょう！ そのための第一歩が全国一律最低賃金1500円にすることです。文京春闘共闘会議からの訴えとします。」

《「コロナ休業支援金」を手に入れました！》

2021年6月15日付でCU東京文京支部に所属する4名の労組員の郵便局や銀行口座に休業支援金が振り込まれました。昨年8月以来、支給申請、不支給再申請を繰り返し行い、4回目の「不支給再申請」で支給決定されました。みなさまのご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。2021年4月9日付、3月31日付「しんぶん赤旗」日刊紙のともに5面に、厚労省の「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」要領(HP)が4月6日付で『更新』されたとの記事が掲載されました。今回の記事内容は文京区内で発生した昨年の労働争議に端を発したものです。事の起りは会社(旅館)が社会保険・厚生年金をやめて、労働者に国民保険・国民年金に入るように強制したことです。それに対し当時の「住込み労働者」が「それはおかしい」と異論を唱えたことが労働争議の発端でした。その後には紆余曲折はあったものの会社側弁護士を交えて労働組合・当該と労働争議に対する解決金も含む和解「協定書」を交わしました。この解決金が「見舞金」に該当すると厚労省の判断によって休業補償が「不支給」とされてしまいました。厚労省交渉を重ねる中で新たな判断が出されたことは「決して諦めることのない」姿勢を貫く重要性を感じています。当該の労働組合員に寄り添った形での明るい解決の「メド」がついたことを歓迎しています。(文京区労協・CU東京文京支部 伊藤)



(今春に厚労省交渉に行った際の写真です。)